

刊夕 日六月九



定価 一部全紙一ヶ月五拾五圓 郵費別
廣告料 五圓 印刷費 一行五拾圓
日曜 祭日の日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
電話 六三〇
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

名香の哲學 (二)

真繼 雲山

斯うした嗜好から、私は朝晩の佛前には、一つは自分の名香慾も手傳つて、比較的高級の線香を供へることにしてゐる。そのため外出先から歸つてきて入室すると、私の室は、いつも軽い香氣が漂うてゐる。私は今後十年、二十年にわたりせいふ線香を焚いて、善光寺の本堂のやうに香氣をくすべつける積である。斯く薫じつけることを、佛教では薫習といふ。凡夫は善惡の行法をもと、真如の體であるべき阿頼耶識といふ種子に薫習するため、その業力によつて生々輪廻するのである。

私の美香道樂を知つたさる知人から、曩きごろ、價百金を超ゆる名香一箱を寄贈してくれた。一粒の價サツと一圓也、迂濶には煙りに出來ぬが、眺めるだけでは大した香氣も出ぬので客を招じて兩三回焚いて見た成る程その風趣、汲むべきものがある。二階で焚いて二階で匂ふのは定法であるが、階下にやつて來たお客が、鼻をクンクンいはせてゐるに至りては、名香の威力、深遠といふの外はない一年に一粒たくとして五十

年あり、そんなには生きなくともよいから、精々この名香を草庵に薫じつけておく目算である。

佛教は、心の滯着を掃ふの教へであるから、妄念を助長させる名利が、その導師であるべき筈はない、心を指示するには、耳を澄ませ、眼を開くことも一方法には相違ないが、音樂も讀書も作意をはなると無念無想に還へれよであるから、作意と理窟をはなれた名香は、心を本然の姿によみがへらすに卓効あり。この故に佛教では香のことを佛使といふ。香は佛の心を能く人に通ずる使だからである。彌陀四十八願中の第卅二願には、寶香合成の願といふのがあつて、百千の香をもつて十萬世界を薫せんこれがかぐもの皆な佛行を修せん、若し然らずんば正覺を取らじとある。

名利と女の尻ばかり追ふて廻る現代人あらば時には名香の香りでもかいで歩くべし、少しは佛に近づくとを得んか。



スポーツ筋肉 (四)

城南生

前に筋肉が刺戟に由つて興奮すると述べたが神経中

樞に起つた刺戟が刺戟傳導係即ち神経係を傳つて筋肉に入り興奮と言ふものに早變りすると言ふわけではな

い。筋肉に興奮が起るのは筋肉内に興奮を起し得る條件が前以て充分備へられてゐる事が必要でその條件が備へられてゐて初めて外部から來た刺戟を機序として興奮するのである。即ち筋肉内には興奮を起すのに必要な條件を持つてゐるのでなければ筋肉は起らないと言ふ事になる。

この條件を内部的な生活條件と言つて生きて居る筋肉は凡てこの條件を有してゐる事になる。この内部的な生活條件には筋肉が外部からの刺戟を受け入れる性質即ち被刺戟性と興奮する性質即ち興奮性がある故に、筋肉が収縮するには外的には刺戟が内部的にはこの内部的な生活條件の具備と言ふ事が必要である。

扱つてこの内部的な生活條件の具備と言ふことは要するに筋肉が生きてゐる事であるから、筋肉が生きてゐるのには筋肉内にどんなものがある必要があるか又筋肉が収縮する際に筋肉にどんな化学的な變化が見られるか?

先づ筋肉が働くには筋肉内に含れ炭素就中グリコ

ーゲンが適量存在してゐる事が欠くべからざる事なのである。そのグリコーゲンが乳酸に變化する際に筋肉が収縮するものと考へられてゐる。即ち筋肉の収縮に際して其のエネルギーの根源となるものはグリコーゲン等なのである。事實に於て筋肉内に適量のグリコーゲンが無いと収縮は起らないのである。



折々

佐藤千代

かゝる日の我にもかつてありしかと兒等の遊びをしはし見てをり

初めての母となりたる喜びを包みかねつとも恥ぢろへる君

宗匠の茶のお手並のうらはしく心うたれてはれと見る

來かれば鐵路がすかに鳴りてあり長き列車の今消えしばかり

惱みをば打明けられぬ悲しさに水に歎きを寫すのみかな

◎期 日昭和七年九月十八日(第三日曜)
◎場 所 平町第三小学校庭
◎競技方法 タイム滞空競技
第三回 郡下模型飛行機競技大會

◎賞品 一等高さ一尺の大銀カッパ及び銀賞牌、銀メダル其他十五等迄澤山進呈奮て多數御参加あらん事を!
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ

主催 平町 いづみや飛行機材料店
後援 平町 常磐毎日新聞社
東京 ダイヤモンド 模型飛行機 東京研究会

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

看護婦急派

の求めに應じま

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

金銀高價買入

根本時計店

質札は(金時計指輪指輪類)有利に御相談致します 平町田町丸新デパート

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(電話一七〇番)

大和田醫院

毎度御ひいき

有難ふ御座ります

うなぎの御用命は

うなぎ 奴

平町田町(電話二二二番) ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

地理的の不利と種々な重壓下に

奮進健闘の金成候補 最後の文書戦

多額議員選挙は愈々期日切迫し三巴の白熱戦を演じて居るが金成氏は最後の文書戦として本日左記の書状を有権者に配付した

拜啓初秋之候益々御健勝の御事と奉拜察候多額議員選挙も餘す所敷日と相成三者鼎立して全くの白熱戦場と化し申候

候補者として出陣候以來皆様の御鞭撻と激励とに多感

なる小生は唯々感激して厚き御援護の下に馳驅奮戦致し居候も縣中樞を遠く離るる地理的不利と加ふるに種々な重壓下に非常なる悪戦苦闘の状勢に有之候

非常時の今日、公私共極めて御多端の際と恐察申居り候得共急迫せる選挙戦の形勢、上述の爲め重ねて苦衷を申上只管貴下の御同情を相仰ぎ以て最後の榮冠を得度切に切に奉懇願候 頓首

情操と作業の

教育實施協議

平第二小學校にて

平第二小學校にては明日午後二時より職員會を開き情操教育及び作業教育實施に付いて協議會を開くが協議題は左の如くである

(情報教育の件) 作品陳列室の特設、教室の美化、日本古来の節句節日の教育的考察、動物の飼育、母の日及び恩師展墓の日設置、國家の中心郷土の偉人及び死亡兒童の慰靈祭

(作業教育の件) 花園及び農園の特設、各種奉仕デーの設置、學校の社會化、

公民學校 始業式舉行

既報平商業學校内平實業公民學校の始業式は昨日午後七時より平商講堂に於て舉行入學生三十四名にて來賓として伏見町長外多數臨席先づ校長の挨拶町長及び町會議員鈴木光吉氏の祝辭等あつて茶話會を催した

蕃殖牡馬検査 石城郡蕃產馬組合では蕃殖牡馬

健康検査の爲め来る七、八兩日は三坂九十の兩日は澤渡十一、十二日は永戸箕輪等各村にて行ふ事となつたが尙縣產馬組合の七年度定期種牡馬検査も来る十五日上遠野及び平町にて行ふ

依然五十圓台に

農家はホク／＼ 四倉市場強調子

去る三日遂に五十圓台を突破して以來四倉市場は本日も依然五十圓台を下らず最高五十圓四十錢、最低三十二圓四十錢、馴四十五圓三十錢で取引開始以來本日迄の累計は白蘭貫數一萬一千三百貫、代金四萬七千七百圓六錢、黄蘭は二百五貫餘、代金八百三十六圓四十四錢であるが本年農家に於ける秋蚕生産費は昨年の卅圓以上なるに反して廿六圓見當の安値であつた爲め二、三年來續いた爾安の損失を一舉に取返す程の収益を揚げてホク／＼ものであると

産米改良 特別傳習

農試分場にて

神谷農事試験分場では来る十五日同所に於て特別傳習會を催し稲作收穫及び産米改良等に就き傳習會を催すが講師は本場の本橋技師である

眞綿講習 郡農會が主催

石城郡農會では来る七日より十月十一日迄左記日割を以て各町村に眞綿講習會

桑園整理に

けふ具体的協議

既報農村匡救濟策としての桑園整理改植實施協議會は本日午前九時より平商會議室に於いて郡下各營業實行組合職員五十餘名出席のもとに開かれたが當日の各事項左の如くである

(指示事項) 桑園整理改植獎勵に關する件、養蠶實行組合に關する件

(注意事項) 桑園改植實施に關する件、桑苗需給に關する件、既設桑園の肥培管理に關する件、養蠶實行組合設立指導に關する件

平第一自治會 平第二小學校自治會にては来る

八日總會を開くと

匪賊 掃蕩夜話 (6)

滿洲奉天駐劄軍曹 平町出身矢野重光

磐中對入山の 第二回水泳戦

磐城中學校水泳部にては来る十八日入山炭礦へ遠征し同礦水泳部と第二回對抗競技を行ふ

大浦共米 業倉庫

の共同米販賣は昨日同所にて行はれ四等百九十五俵五等二百六十三俵、等外二俵、計四百八十二俵

村)廿一日より廿七日迄 (大野村)廿八日より十月四日迄(磐崎村)十月五日より十一日迄

暑苦しい、砂塵が上る顔は汗と砂で真黒になる戦友を見れば皆申合せた様に頸を前の方に突出して銃は天秤になつてゐる。道路の傍には支那人が「リヤン水」(冷水)を桶に入れて持出してゐる。此の水を見る。度に今迄出してゐた顔が「ガク」と後ろに引着けられたそれは外でもない水を見る度に小隊長殿が「生水を飲んぢやいかん」と口癖の様に注意をせらる。大喝に驚いて今迄出してゐた顔が元へ戻るのであつた。

三井タシク

電話 八六五番

市原醫院

平町 田町 電話 一四番

生水を飲むは誰か……と何時も同じ注意を受けてゐる矢先又初年兵の某名一名暑さに負け今將に口にせんとした時折悪しく幹部の目に入る 誰か生水を飲むのは「初」ハイ自分であります「初」自分では分らん姓名を云へ「その水は消毒したか」初「ハイ未だ致しませぬ」初「何時やるか」初「飲んでから消毒薬を飲みます」

十、討伐行軍の一日 初陣！勇躍して匪賊討伐に向ふた初年兵の僕も炎熱焼くが如き夏の連日行軍に段々と勢れて来た。第三日の午後だつた赤土の道は

平町市街附近の

田畑の値段

△接近した場所では
△殆んど宅地と同値

最近平町役場で調査した市街地附近田畑地の買相場は市街地に接近して将来宅地と見なされる城山及び新川畔附近は市内宅地と同一相場で一反歩千二百圓から千六百圓と云ふ高値を呼んで居るが夫れでも尚田所有者は手離さず市街地を離れた處では平均して田一反三百圓から五百圓位畑地が二百圓から三百圓と云ふのが通り相場であらうと

若松大佐が

廿日頃に歸郷

負傷も全快し

華々しく凱旋

石城郡赤井村字平久太出身騎兵大佐若松晴司氏は左腕關節を貫通せる銃傷を負ふて指揮刀を離さず健闘し満洲の野に鬼大佐の雷名を轟かしたが今は負傷も全快して内地に晴れの凱旋を爲し去る四日華々しく入京せる由にて本日親戚に當る平町田町橋本系店の眞根井店主に當てた

書状に

依ると凱旋早々用務繁多の折柄とて歸郷の日取りは決定しないが多分廿日頃になるであらうとの事であつたといふ

映寫室でトーカーを觀覽せしめた後各自動車營業者を訪問宣傳し人氣を博した

益踊の

歸途に

短刀で傷害

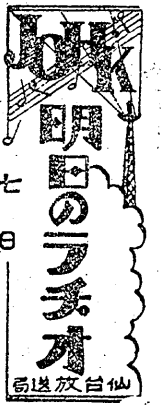
石城郡大浦村大字細谷字民野町十六番地農德三郎三男小林榮(五)は本日平検事局に押送され上川檢事の取調べを受けて居るが事件は去月十五日午後十時頃石城郡草野村大字泉崎光坊寺祭典の盆踊りに行き歸途大浦村細谷地内鐵道線路に於て四倉町字仲町古河竹松と些細の事から口論の末持ち合せてゐた短刀を持つて同人を突

病訓導に同情し

けふ父兄が相談

早速見舞金を募集

本紙に依つて詳報された平第二小學校元訓導四家安男氏に同情せる同氏の受持學級であつた二年三組生徒の父兄有志は本日午後二時より同校作法室に參集見舞金



今夜は南東の風驟雨模様明日は北の風曇り驟雨氣味

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「小鳥とわたし達」熊谷三郎
後六、三〇 夏期英語講座(二六)鹽谷榮
後七、三〇 講演「科學上より見たる水及び空水のスポーツ」東北帝大教授工學博士宮城音五郎
後八、〇〇 講演「オリム

明日の部

前六、三〇 家庭教育講座「個性を活かす教育」大阪教育研究所長大伴茂
前七、〇〇 エスベラント講座(二)日本エスベラント學會國際常設代表進藤靜太郎
前九、一〇 料理献立「サラダダンテ」河内捨松
前一〇、三〇 婦人講座「子供の被服」奈良女子高等師範學校教授越智智キヨ子
後〇、〇五 三曲「黒髪」外尺八上田芳徳 三絃中橋曉夢 箏中浪蝶夢

取立金の

横領發覺

石城郡豐間村字沼ノ内居住第一生命保險並に日本簡易火災保險外交員飯高兵助(四〇)は八月上旬同字の大和田喜久治(五)より保險外交の傍ら貸金整理方を依頼されたのを奇貨として取立金五十圓餘を消費横領した事發覺目下平署で取調中である

泥酔老爺が

跳ね飛ばさる

滿積の片倉トラックに

平町警城片倉製絲會社トラック運轉手磯部一夫(三)は四日午後十時頃滿積して平町へ向ひ双葉郡瀧田村字井手地内國道を進行中泥酔して通り合した同村字北田の青木勝次郎(六)に誤つて衝突し全治二週間の打撲傷を負はした

前借小僧家出

月見町一三石材工場田中惣次郎方徒弟佐々木一夫(二)假名は昭和五年より前借五十餘圓を以つて雇はれて居たが五日午前六時頃無断家出をなし行衛不明となつたので本日主人より平署に捜査方を願出た

平職業紹介所報告

求人部の
△豆腐賣子 三十以下、尋卒、賣上の二割(平町某)
△商店員 十八迄、尋卒、月三圓より(平町某)
△配達 三十以下、尋卒、月五圓(四倉町某肉店)
△女中 二十以下、尋卒、給料面談(平町某)
△回求職の部
△雜夫 三十八才、讀書心得、給料面談(平町某)
△自動車助手 二十二才、尋卒、給料面談(好間村某)
△炊事夫 四十才、無學、給料面談(平町某)
△家具工見習 二十三才、高卒、給料面談(双葉郡某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第四百十四席

女流劍客里見靜枝

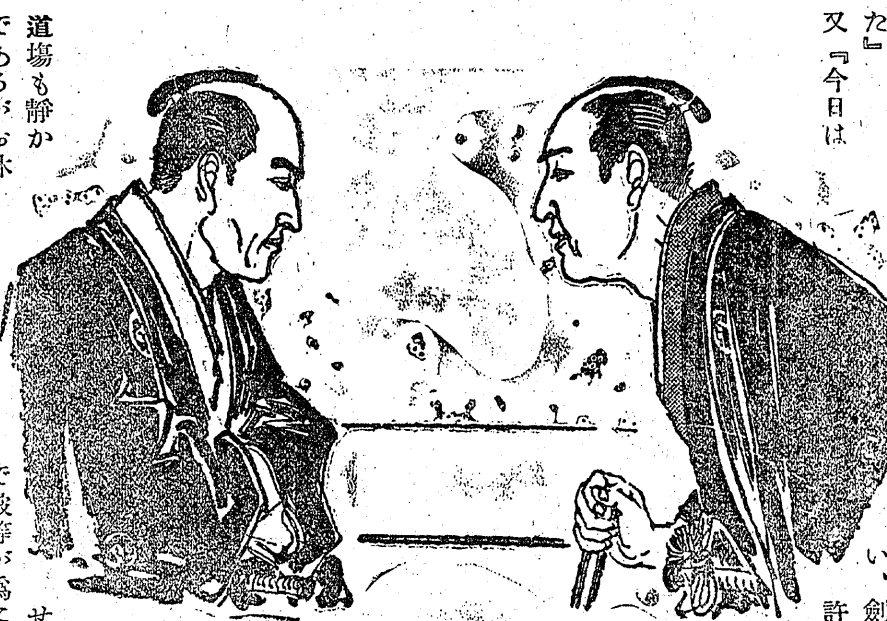
勝と敗の請合ひ
里見主計は試合當日は勝を長谷部傳藏に譲るつもり勿論これは秘密の事とて娘靜枝又門人の山路金作にも云はぬ

金「先生、長谷部が参つたはどういふ用事でございましたナ」

主「イヤ、今度立花公に奉公いたすさうだ、それでその事を披露する爲に見えたよ」

金「へーエあの暴れ者を立花様でお抱になるとは不思議でございませう、然しあんな奴とて長く奉公いたし居る事はなりません、それにしてもどういふ處から御奉公する事になりましたナ、奇代な事があるもので」

などこんな事を云つて笑つて居た、スルト長谷部傳藏が参つた、その翌日里見の許に來たは立花又左衛門といふ立花侯の留守居役これは外交官ですから世上の事にも通じてゐる、立花侯程の大名は留守居役の交隨費として年に千兩は支出する、殿様から入費を取つて他家の留守居役と共に花柳界にて遊びながらいる、



と相談をする、それですから留守居には通人がありました、その立花又左衛門が見えたと聞いて早速主計は面會して

主「ようこそ御入來下された」
又「今日は、許に押寄

道場も静かであるがお休

みかナ」

で彼等が爲に大分迷惑いたしました者もある、然う云ふ奴を指南役の代理に致すと若侍の風儀が亂れるさりとて拙者より故障を申したとて重役共は肯入れまい何しろ長谷部は曲者だけに

主「最早門人共は歸りました、左様か時に里見氏お話し申す事があつて参つたよ、お聞きなされたか、

今度長谷部傳藏と申す浪人を抱へる事になつた」
主「イヤ其事は承りまして御座る」
又「それに指南役の代理を申す事であるが其奴は甚だ素行が宜しくない江戸市中に道場を開き居る武藝者の許を訪うて試合を致しそれに打勝つと看板を外して持ち行くなどと脅し、その上金銭を強請致す、イヤどうも不埒な仕業、これを三人組と申して長谷部は朋友を伴れては餘り名の高くない、劍法者の許に押寄

権門に取入る事が巧妙だてそこで抱へるは宜しいが技を一應試みたら宜しからうとかう重役共も申して貴殿と試合を致させる事に取計らつた何れ沙汰もあらうが當日は青息を吐くほど打据目を失ひ奉公の成らぬ様に致して頂きたい、これをお頼み申す爲に参つた」
云はれた主計が困つた、それは長谷部に歎願されて試合を致す時は勝ちを譲ると約束致しある、さういふ譯で立花又左衛門の意見に従へば此約束を破らぬばならぬ、ハテ何としてよいかと考へて居たが

主「その試合には手前が勝利を得ると定り居る事でもござるまい、彼の長谷部も一派に達し居る者、さすれば彼が爲に手前が打負る事もござらうか」
又「イヤそんな事は萬に一つもない、貴殿と互角の勝負を致す事なるまい、それに彼は麴町の貝塚に住まひ居る家來を遣はして平素の行ひを調べた處近傍の者は彼等が爲に頗る迷惑をいたし居る由、猶又以前奉公いたし居つた舊主上杉家を調べたるは彼の長谷部傳藏は勘定奉行の下役を勤めて居つて御殿普請の節に出入町人と結託して不正の工事を見通し賄賂を貪りそれが爲に暇になつた事又同僚二人も同時に暇になつた、然ういふ人物を指南役の代理として若き者共をして師と仰がせる事はなりませんまい

只今も申す通り試合の時はした、かに打据えてナ、奉公の出來ぬやうに致して貰ひたい」
主「承知いたしました、その節は彼に目に物見せるでござらう、此事お引受け申した」
又「それは忝ない宜しくお取計らひ下さい」
と吳々も頼んで又左衛門は戻る、跡で山路金作を呼んで此事を告げ長谷部の素行を調べさせると成る程又左衛門の申した通り近所ではこの人々を猛獸の如く思つてゐます。

科病柳花・科兒小・科内 院醫沼藤

町屋紺町平 應需院入
番五〇七話電

科人婦・科外 院醫坂井

町田町平
番九五五話電

酒屋 酒屋
平町田町通電話六五六番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式会社
代理店 西村屋薬舗
平町二丁目電三一

平新川町十九
産婦人科
木村病院
電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
内臓外科 醫學士 内 木宗八
整形外科
泌尿器科

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり